

●某アミューズメントマシンをテストプレイし、プレイ意向度への要因を共分散構造分析(SEM)で探ると以下の通り。

【分析結果】：プレイ意向度には「○○」の要素が最も影響を与えており、「○○」には「△△」の影響力が大きい。「△△」は「グラフィック表現」「迫力」「◇◇」と相関性が強い。一方、「難易度」「□□」「サウンド」などは「○○」への影響度が小さく、プレイ意向度にインパクトを与えていない。パラメータの修正には、「難易度」や「□□」の調整より、「グラフィック表現」「遊び方」「迫力」「◇◇」に手を加えた方が、プレイ意向度が高まることがわかった。

